

薫りの継承 上

中村明日美子



薫  
り  
の  
継  
承  
上

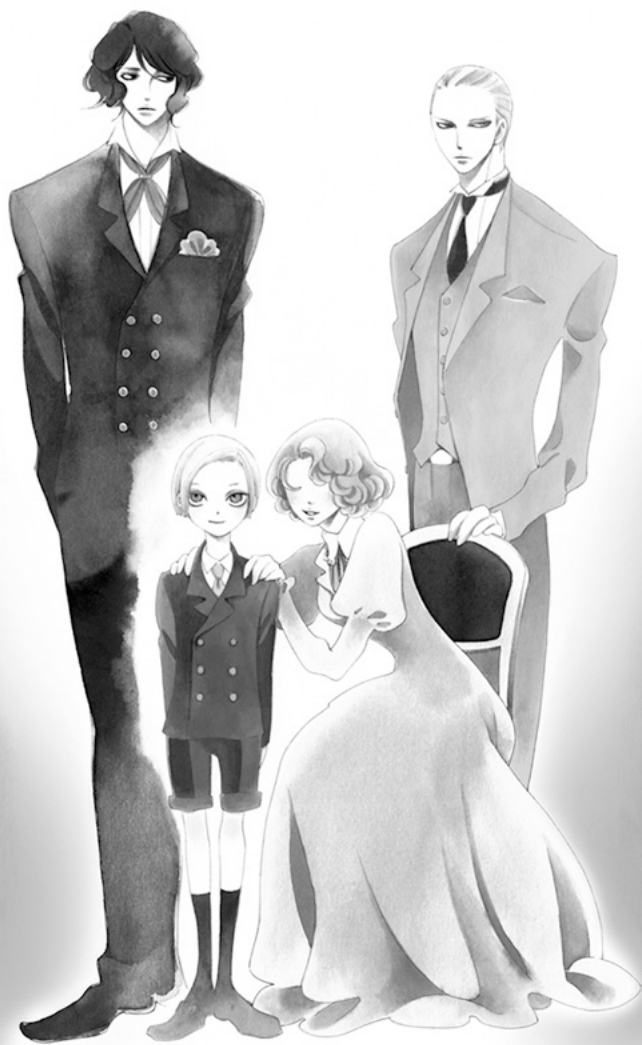
中  
村  
明  
日  
美  
子

汚 れ	第 六 話	第 五 話	第 四 話	第 三 話	第 二 話	第 一 話
204	165	131	99	67	39	5





第一話



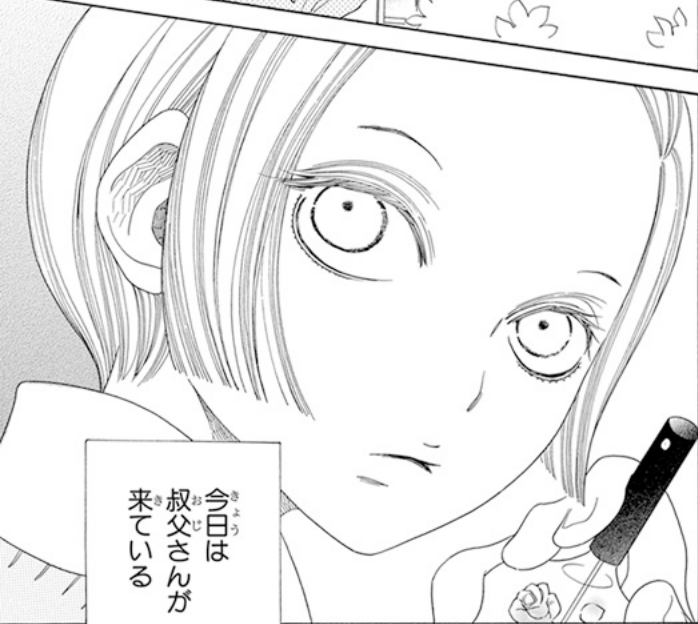




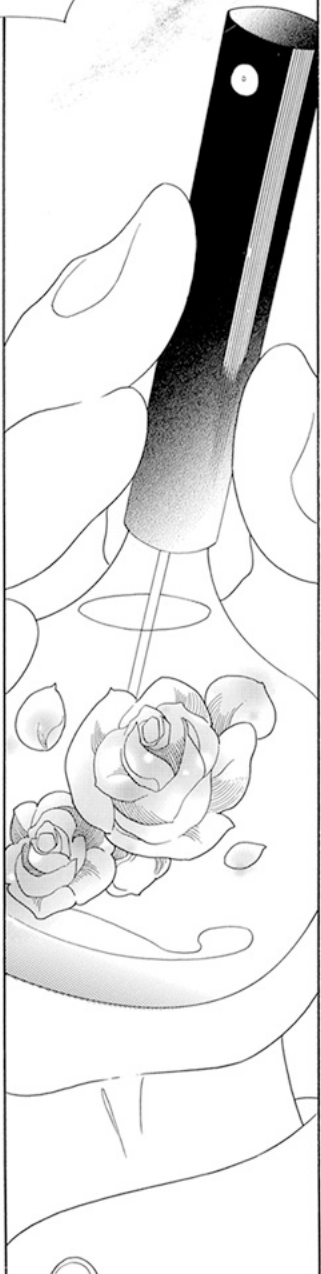


いったい  
なんどめたい  
何度目だと  
思ってるんだ!!

パ  
ン!!



今日は  
叔父さんが  
来ている





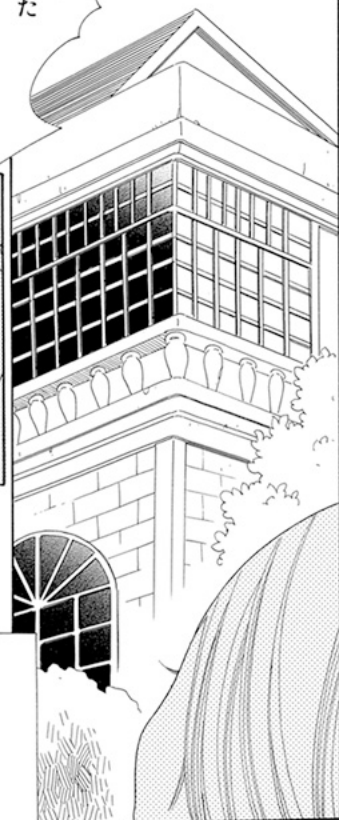
お前のその  
ぐずぐずした  
泣き顔は  
見飽きた

今すぐ  
私の前から  
消えろ！

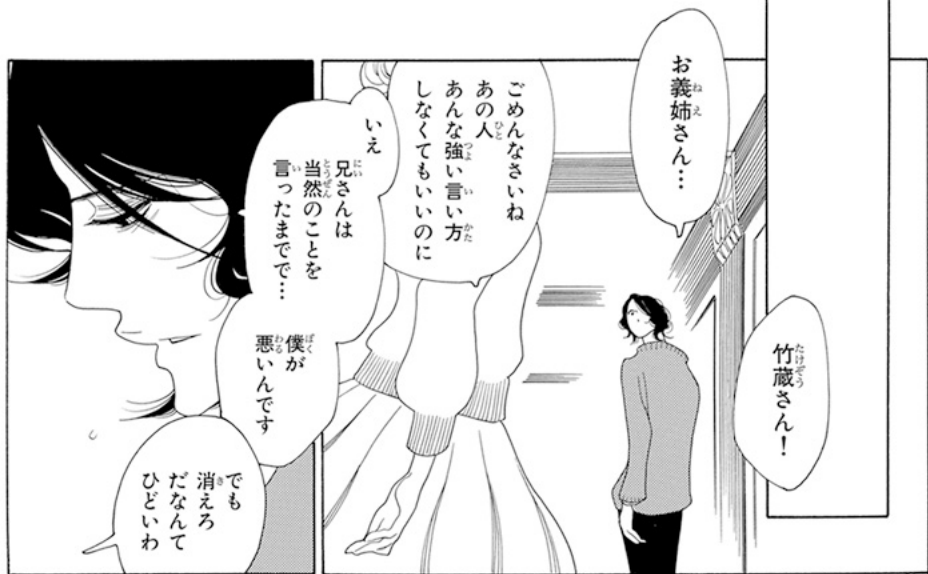


叔父さんは  
泣き虫で

駄目な大人だ



早く！！



お義姉さん…

ごめんなさいね  
あの人  
あんな強い言い方  
しなくてもいいのに

いえ  
兄さんは  
当然のことを  
言ったままで…

僕が  
悪いんです

でも  
消えろ  
だなんて  
ひどいわ

竹蔵さん!



私の方から…  
言いたいでしょうか?

その…  
お金や  
なんかのこと…

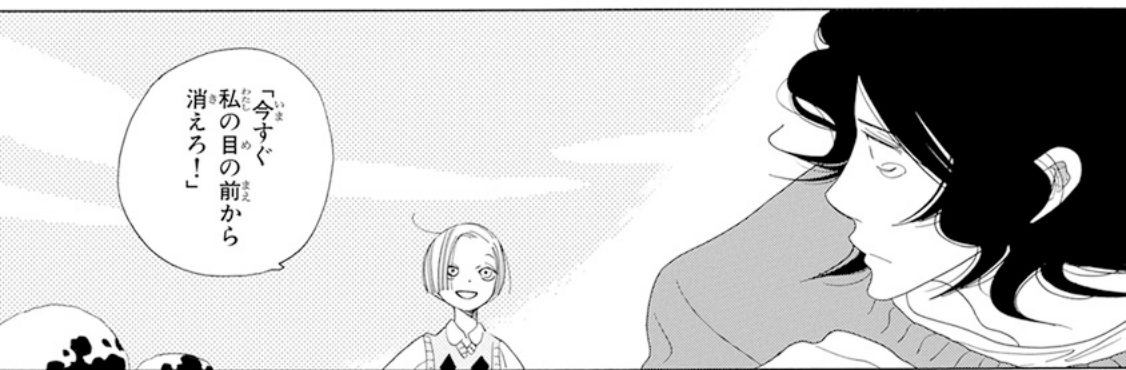
お店の運転資金  
なんでしょ?

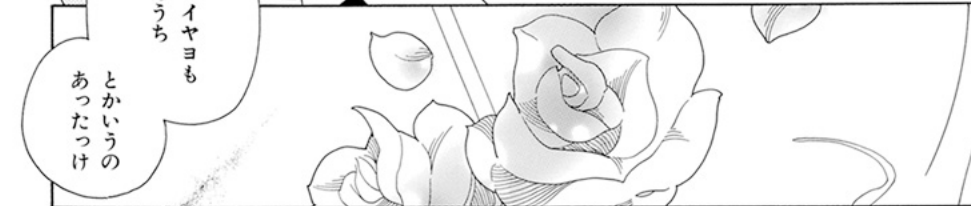
とんでもない!!

大丈夫…  
大丈夫ですよ

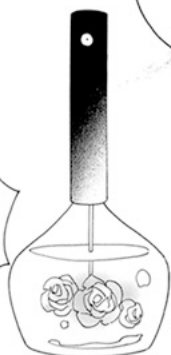
心配  
おかけして  
どうも…

「お前のその  
ぐずぐずした  
泣き顔は見飽きた」





オー・ド・トワレ



要!

またママの香水  
勝手に  
持ち出して!

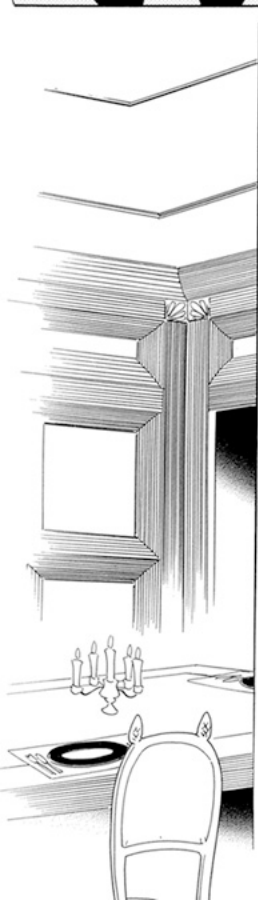
買ったばかり

なのよ

やだもう

こんなに  
使って:

ごめんなさい



はいママ



…いい子ね

ごめんなさい

言える子は  
いい子よ

今度欲しい時は  
ママにひと言  
言うのよ

要  
いいわね



キレイでいいにおい  
だったから  
欲しくなっちゃったの

ごめんなさい  
ママ



竹蔵  
食器の音を  
立てるな

十九



これで何度目だ？  
私から注意を  
受けるのは

お前の反省は  
口ばかりだな

…ごめんなさい…



…ごめんなさい



…そうそう

このあいだね  
お花のお教室の  
奥さんたちが  
竹蔵さんのお店に  
行ったんですって

ホラあの  
北鎌倉の  
創作フレンチ

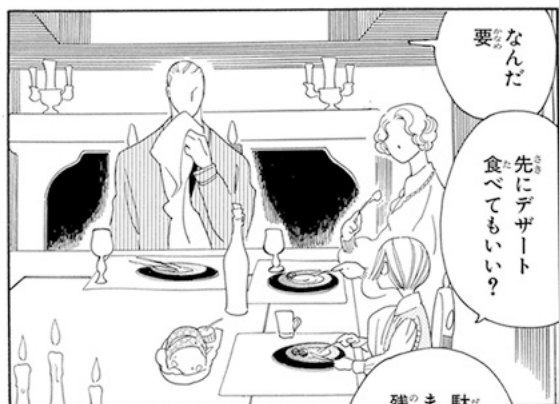


とっても美味しくて  
雰囲気も良かったって

また寄らせて  
頂きますって  
おっしゃってた  
わよ

ありがとう  
ございます

茉莉子  
余計な  
気を遣うな  
赤字経営じゃ  
話にならない



なんだ  
要

先にデザート  
食べてもいい？

駄目だ  
まだつけあわせが  
残っているだろう



でも僕  
デザートが  
食べたいん  
だもの



お前には  
経営者としての  
能力がまるで  
欠如している

趣味でやるなら  
子供にだって  
できるんだぞ

パパ



おねがい  
パパ

わがまま  
言うんじゃ  
ありません  
要

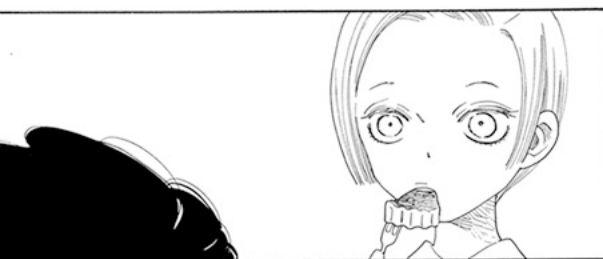
プロッコリー  
食べたなら  
僕タルトが  
入らない



ベカンナツツの  
タルトでしょ

スミさんが  
焼いてるの  
見たんだ





…今日  
ただだぞ

やった！  
ありがとう  
パパ！

食卓で大声を  
出すんじゃない

茉莉子  
パンをこっちに



話…  
そらして  
くれたんでしょ？  
夕食の時

俺が兄さんに  
怒られて…  
しどろもどろに  
なったから

ありがとう  
要くん

ん？

叔父さんて  
マゾ？



パパに  
怒られたがつてる  
ようにしか  
見えねえもん

そんなこと  
ないよ……

じゃあ  
好きなんだ

……  
えっ!?

か

めんどくせえから  
そーいう  
かつこつける  
みたいなのをやめない?

本音でいこうよ  
本音トーク

叔父さんは  
どうしたいの?

……そりゃ……

好きだよ……  
兄だもの……

なア



